

I

大阪国際室内楽コンクール&フェスタの開催



大阪国際室内楽コンクール

音楽家の育成を目的に『音楽の原点』を求め合う国際コンクール

大阪国際室内楽コンクールは、室内楽に取り組む優秀な音楽家を世界に広く求め、優れた演奏を顕彰し、人材を育成するもので、国際音楽コンクール世界連盟の基準に準拠して運営します。3年に1回行われ、第1部門は弦楽四重奏、第2部門は開催回によって多様な編成を受け入れてきました。今では室内楽の国際的なキャリアを目指す若手演奏家の登竜門として世界で認められるコンクールとなり、1997年から世界連盟(本部:ジュネーブ)に参加しています。

30年を超える歴史の中の参加団体から、米 Grammy 賞受賞団体や、海外著名音楽学校の指導者など、世界の第一線で活躍する音楽家も輩出しています。

大阪国際室内楽フェスタ

年齢制限や課題曲がなく、一般審査員が賞を決めるユニークな音楽祭

世界の音楽の多様性を紹介する目的で開催される大阪国際室内楽フェスタは、2人から6人までのアンサンブルであれば楽器の組み合わせも自由で年齢制限もありません。クラシック音楽はもとより、世界各地の伝統音楽・民族音楽をも対象にしていて、これまでに中国、韓国、シンガポール、モンゴル、ロシア、モルドバ、リトアニア、スリランカ、ハンガリー、イスラエル、ペラルーシ、カザフスタン、ベネズエラなどの音楽も披露されてきました。

審査は音楽をこよなく愛する一般の聴衆から選ばれた審査員が行なう、世界でも類を見ない音楽祭となっています。



III

室内楽の演奏活動及び、教育普及活動への助成

国内の室内楽振興のため、各種室内楽のコンサート活動、教育普及活動、調査研究活動などに対し、助成を行っています。毎年9～10月にかけて翌年度事業の助成申請を受け付け、1～2月に開催される選考委員会の厳正なる審議により選考されます。



グランプリ・コンサート

大阪国際室内楽コンクール&フェスタの3部門それぞれの優勝団体によるコンサート。演奏機会の創出と日本全国に紹介することを目的に、毎年秋、国内約10か所で巡回公演を行っています。

II

演奏会の開催

トップアンサンブルシリーズ

大阪国際室内楽コンクール入賞団体などの、大阪に結び付きのある卓越したアンサンブルが集まるトップアンサンブルシリーズを、日本室内楽振興財団とあいおいニッセイ同和損保ザ・フェニックスホールで共催しています。かつてコンクールで活躍したアンサンブルが、世界を舞台に成長した姿を再び大阪で披露してくれます。



子どもクラシック ミュージックアトリエ

室内楽の聴衆を育む試みとして、子どもたちが室内楽と触れ合える場 子どもクラシック ミュージックアトリエを、住友生命いずみホールとの共催事業として年に2回実施しています。様々な年齢の子どもたちが室内楽に親しめるよう、多様なプログラムを考案しています。



広報誌などの発行



IV

財団の広報誌「奏」を年に2回発行しています。日本室内楽振興財団の活動や室内楽のトレンドや役立つ情報などを掲載しています。発行された「奏」は、音楽関係団体、学校、会館、財団関連企業、および無料DM会員等に配布されるほか、財団のウェブサイトでも閲覧ができます。



V

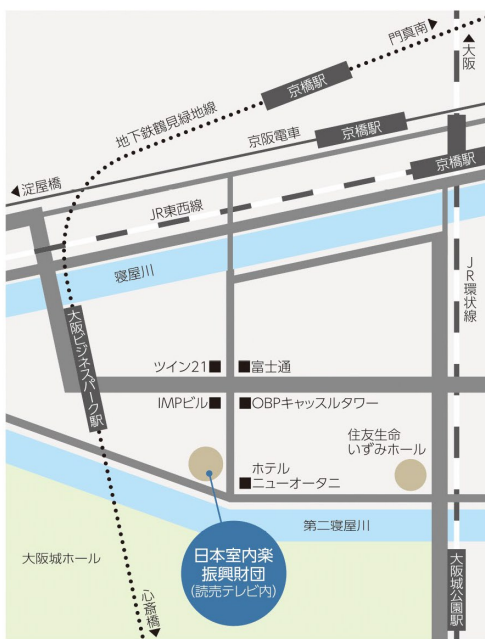
室内楽に関する研究調査

国内外の諸機関とのリレーションを構築し、室内楽を普及していくために調査・研究を行っています。これまでに、「琉球伝統芸能の現在」や、「近畿地区(2府4県)の10年における室内楽演奏会の実施状況」などの調査を行い、レポートを作成しています。

後援名義

国内の室内楽公演などへの後援名義を受け付けています。





 公益財団法人
日本室内楽振興財団

〒540-8510 大阪府中央区城見1-3-50

TEL 06-6947-2183

FAX 06-6947-2198

<https://jcmf.or.jp>

設立: 1992年(平成4年)5月26日

※2011年(平成23年)11月1日付けで公益財団法人に移行

